

各 位

山形県環境保全協議会  
会長 小嶋 信一

山形県環境保全協議会 20 周年記念シンポジウム

「企業を対象とした再生可能エネルギーの普及、事業化連携に向けて」（ご案内）

晩秋の候、皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、協議会の運営には日ごろ何かとご協力ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成 5 年 3 月 15 日設立の本協議会は今年度 20 周年の節目を迎え、下記日程により『20 周年記念シンポジウム』を開催いたします。どなたでも参加可能ですので、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

第 1 部では、東京大学総長顧問・株式会社三菱総合研究所理事長の小宮山 宏 氏が会長を務める「プラチナ構想ネットワーク」の堀 雅文事務局長様よりご講演をいただきます。「プラチナ構想」とは、エコ（グリーン）、健康（シルバー）、IT（ゴールド）など、さまざまな輝きをもった一つ上の暮らしという意味が込められており、日本国中にエコで快適なまちづくり、人材が育ち高齢者も参加する活力あるまちづくりの構想を推進するもので「プラチナ社会への期待」と題してご講演いただきます。

第 2 部では、「企業を対象とした再生可能エネルギーの普及や事業化連携に向けて」をテーマに山形県環境保全推進賞受賞企業様を中心にご協力をいただき、パネルディスカッションを行います。また、シンポジウム終了後に懇親会を企画しておりますので、そちらもぜひご出席くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成 25 年 12 月 19 日(木) 13 時 30 分～17 時 00 分
- 2 場 所 ホテルメトロポリタン山形 4 階「霞城の間」  
(山形市香澄町 1 丁目 1 番 1 号 TEL023-628-1111(代))
- 3 内 容 **【第 1 部 基調講演】** ※裏面もご参照ください。シンポジウム参加費は無料です。  
演題：「プラチナ社会への期待」  
講師：プラチナ構想ネットワーク事務局長 堀 雅文 氏  
**【第 2 部 パネルディスカッション】**  
テーマ：「企業を対象とした再生可能エネルギーの普及や事業化連携に向けて」  
コーディネーター：山形大学工学部物質化学工学科教授 高橋 幸司 氏  
パネラー：最上町 様  
株式会社エスパワー 様  
東北おひさま発電株式会社 様  
日本地下水開発株式会社 様
- 4 懇 親 会 17 時 30 分～19 時 30 分（希望者のみ）  
参加者負担金：お一人様 5,000 円
- 5 締 切 12 月 10 日（火）
- 6 そ の 他 ・車にて御来場される場合は、西口駐車場を御利用ください。会場にて、無料駐車券を発行いたします。  
・懇親会キャンセル料については 2 日前から発生いたしますので、申し込み後にキャンセルされる場合は早めにご連絡ください。

## 《20周年記念シンポジウム》

### 【第1部 基調講演】

演題：「プラチナ社会への期待」

講師：プラチナ構想ネットワーク事務局長 堀 雅文 氏

#### 【プロフィール】

昭和28年生まれ。東京都出身。  
昭和52年 東京大学工学部化学工学科卒業  
昭和54年 東京大学工学系研究科化学工学専攻修士課程修了  
昭和54年 株式会社東芝入社  
昭和55年 株式会社三菱総合研究所入社  
平成3年 科学・技術本部 先進科学部 海洋システム室長  
平成7年 科学・技術本部 先進科学部 第1室長  
平成9年 科学技術研究本部 社会技術部長  
平成12年 科学技術研究本部 技術移転事業推進部長  
平成14年 地球環境研究本部 副本部長  
平成17年 東京大学産学連携本部 特任教授  
平成18年 東京大学工学系研究科 特任教授  
平成21年 株式会社三菱総合研究所 参与  
資格：博士（工学）  
その他：独立行政法人農業環境技術研究所監事、一般社団法人国際環境研究協会（理事・事務局長）、  
プラチナ構想ネットワーク（事務局長）

### 【第2部 パネルディスカッション】

テーマ：「企業を対象とした再生可能エネルギーの普及や事業化連携に向けて」

コーディネーター：山形大学工学部物質化学工学科教授 高橋 幸司 氏

#### ■最上町（第1回プラチナ大賞 プラチナ・イノベーション賞受賞）

森林資源が豊富な最上町は、林業・製材業が盛んであったが、近年は外国産木材の影響により廃業と森林の荒廃が進むと共に、化石燃料の高騰による施設運営費の増加が課題であった。平成18年度よりバイオマスボイラーを導入し、チップの生産・加工を行う為、林業・製材業の方に協力を呼びかけ協議会を立ち上げた。平成24年度には900kWのボイラーが稼働し、3台のボイラーを連携しシステム化することにより、ウェルネスプラザ（保健・医療・福祉の総合施設）にエネルギーを供給し、地産地消のエネルギーと循環型社会を目指している。また、林業で若者の雇用と林産業の新たなビジネス展開やバイオマスエネルギーの視察を中心に農業と観光との連携が生まれている。

#### ■株式会社エスパワー（平成25年度環境保全推進賞受賞企業）

平成23年に自社で開発した積雪地域に特化した高耐久性太陽電池パネル、「サンチェリーソーラー」の販売及び設置業務を開始した。また、塩害地域に設置可能な塩害対策モジュールの開発や、屋根の雪降ろし軽減と冬期の発電促進が可能な融雪パネル等の開発を行っている。太陽光発電関連事業を通じて、二酸化炭素排出量や光熱費の削減等による地球環境の保全と地域社会への貢献を目指している。

#### ■東北おひさま発電株式会社

太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーによる新たな電源開発を進め、地球環境の保全と地域における安定した電力供給に資するため、那須建設株式会社（平成24年度環境保全推進賞受賞企業）の全額出資により平成25年3月に設立された。山形県長井市にメガソーラー「長井おひさま発電所」を建設し8月営業運転を開始した。

#### ■日本地下水開発株式会社（平成23年度環境保全推進賞知事賞受賞企業）

創業以来、地下水を主とする地中熱利用技術の開発に取り組み、オープンシステム（揚水した地下水から熱を取り出す方法）の地下水還元方式無散水消雪方式や帯水層蓄熱による地下水利用ヒートポンプ冷暖房システムを実用化した。省エネでCO2排出量削減に有効であり、空調排熱を大気に放出しないで地中に放熱することから、ヒートアイランドの抑制に貢献している。

